

平成25年度 第2回 緩和ケア勉強会のご報告

平成25年度第2回の緩和ケア勉強会は、7月11日に開催いたしました。出席人数は、85人、うち院内28人、院外57人でした。今回は在宅医療機関の活動報告として、浜田・浅井医院の活動について医師・訪問看護師・ケアマネジャーの立場から経験された実際の事例を含めてお話をさせていただきました。また、緩和ケアチームからは、兼松薬剤師よりオピオイド使用の基礎知識について、山本がん看護専門看護師より「からだの知恵に聴く」という本からの一節についてお話いたしました。アンケートでのご質問について、コメントを添えさせていただきます。

なお、今回、会場である講堂のエアコンが故障し、急遽リハビリ室で開催致しました。出席された方にはご迷惑をおかけしたことを深くお詫びするとともに、開催1時間前に変更したにもかかわらず、リハビリの皆様には快くリハビリ室を使わせていただき、事務の皆様にも会場準備でご協力いただきましたことを心から感謝致します。ありがとうございました。

ご質問・意見とそのコメント

1. 訪問看護が、他の医療機関と具体的にどのような連携をとるのか？

→電話やFAXでの情報交換、退院時の対応や指導・再入院などの連携をおこなっています。

2. 休みの時での掛けつける対応

→今回の症例の場合は、たまたま縁があって駆けつけました。

土曜日は、各チーム1.5人、日曜日は各チーム1人で訪問し、緊急時の呼び出しには、その中で訪問順等をやりくりしています。

3. セデーションの後にPtの反応に対しての後悔、家族だけでなくスタッフへのグリーフケアはどうしているか？

→セデーションは、患者・家族と十分話し合い（目が覚めない事も含め）施行しています。

セデーションをした後悔より「もう少し早く施行した方が良かったのでは・・・」という後悔の方が多くありました。

4. 浜田・浅井医院の訪問看護での、全体の訪問数に対するがん患者・緩和ケア対象者の割合。

他にはどんな患者がいるのか？

→【がん患者・緩和ケア対象者の割合】H.25年6月の場合（診療のみを除く）

訪問看護	人数	91人中	26人	29%
	件数	510件中	264件	52%

【他の患者さんの病気】脳血管障害・慢性呼吸不全・ALS・頸椎症・認知症 等

ご意見・ご感想、どうもありがとうございました。今後もしどしご意見をお寄せください。

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院
地域医療連携センター FAX: 0572-22-7948
緩和ケア部 Mail: kanwa@tajimi-hospital.jp